

科目名	解剖学 3						年度	2026	
英語科目名	Anatomy 3						学期	前期	
学科・学年	柔道整復科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	砂川正隆	教員の実務経験		有	実務経験の職種		歯科医師		
【科目の目的】 医療を志す者にとって基本的な学問であり柔道整復師として人体の構造を立体的に把握できることを目的とする。									
【科目の概要】 人体各器官の存在場所や特徴を学び解剖学を統括します。									
【到達目標】 人体構造の系統を把握し、人体の正常構造について統合的に理解し、器官と部位の解剖用語を理解する。器官の三次元的関係を把握し、画像解剖学と対応させながら、説明でき、単に人体部位の名称の羅列ではなく、有機体としての人体の構造を自然科学の視点で捉え、基礎科目・臨床科目の学習の基盤となりうる、知識の基礎を身につけることを到達目標とする。									
【授業の注意点】 医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	感覚器系について完全に理解している。	感覚器系について大体理解している。	感覚器系について部分的に理解している。	感覚器系についての理解がやや不足している。	感覚器系について理解していない。				
到達目標 B	体表解剖の骨格系と筋系について完全に理解している。	体表解剖の骨格系と筋系について大体理解している。	体表解剖の骨格系と筋系について部分的に理解している。	体表解剖の骨格系と筋系についての理解がやや不足している。	体表解剖の骨格系と筋系について理解していない。				
到達目標 C	体表解剖の脈管系と神経系について完全に理解している。	体表解剖の脈管系と神経系について大体理解している。	体表解剖の脈管系と神経系について部分的に理解している。	体表解剖の脈管系と神経系についての理解がやや不足している。	体表解剖の脈管系と神経系について理解していない。				
到達目標 D	体表解剖の生体計測について完全に理解している。	体表解剖の生体計測について大体理解している。	体表解剖の生体計測について部分的に理解している。	体表解剖の生体計測についての理解がやや不足している。	体表解剖の生体計測について理解していない。				
到達目標 E	映像解剖について完全に理解している。	映像解剖について大体理解している。	映像解剖について部分的に理解している。	映像解剖についての理解がやや不足している。	映像解剖について理解していない。				
【教科書】 教科書（解剖学-社団法人全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		解剖学3			年度	2026
英語表記		Anatomy 3			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	感覚器系①	外皮について。	1 皮膚の構造と働き	表皮・真皮・皮下組織、保護・体温調節・感覚器について理解する。	3	
			2 表皮・真皮・皮下組織	構造と機能について理解する。		
			3 角質層と皮膚腺	毛・爪、脂腺・汗腺・乳腺について理解する。		
2	感覚器系②	視覚器について。	1 眼球の構造	繊維膜・血管膜・内膜、虹彩・水晶体・硝子体について理解する。	3	
			2 網膜	視細胞層・双極細胞層・視神経細胞層について理解する。		
			3 複眼器	眼瞼・涙器・眼筋について理解する。		
3	感覚器系③	聴覚器および平衡器について。	1 外耳	耳介と外耳道からなるについて理解する。	3	
			2 中耳	鼓膜・耳小骨とそれを入れる鼓室・耳管からなるについて理解する。		
			3 内耳	蝸牛・前提・半規管からなるについて理解する。		
4	感覚器系④	味覚器と嗅覚器について。	1 味蕾	味細胞と支持細胞で構成について理解する。	3	
			2 味覚神経	舌の領域による支配神経について理解する。		
			3 嗅覚器	嗅粘膜、嗅球・嗅索、嗅覚中枢について理解する。		
5	体表解剖①	骨格系について。	1 頭部・頸部	下顎角・外後頭隆起・乳様突起・頸窩などについて理解する。	3	
			2 胸部・腹部・背部	胸骨角・肋骨弓・剣状突起・上前腸骨棘などについて理解する。		
			3 上肢・下肢	内側上顆・外側上顆、内果・外果などについて理解する。		
6	体表解剖②	筋系について。	1 顔面部・頸部	咬筋・胸鎖乳突筋・顎二腹筋前腹・顎舌骨筋などについて理解する。	3	
			2 胸部・腹部・背部	大胸筋・胸鎖三角・前鋸筋・外腹斜筋・僧帽筋などについて理解する。		
			3 上肢・下肢	上腕二頭筋・長掌筋・タバチエールなどについて理解する。		
7	体表解剖③	脈管系について。	1 頭部・頸部で拍動を触知	顔面動脈・総頸動脈・鎖骨下動脈などについて理解する。	3	
			2 上肢・下肢で拍動を触知	腋窩動脈・上腕動脈・大腿動脈・足背動脈などについて理解する。		
			3 静脈注射および点滴部位	各皮静脈について理解する。		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 感覚器系①	外皮と視覚器について理解する。	3	
			2 感覚器系②	聴覚器・平衡器・味覚器・嗅覚器について理解する。		
			3 体表解剖	骨格系・筋系・脈管系について理解する。		
9	体表解剖④	神経系について。	1 圧痛点の好発部位	三叉神経痛・大後頭神経痛・坐骨神経痛について理解する。	3	
			2 神経麻痺の好発部位	尺骨神経麻痺・総腓骨神経麻痺について理解する。		
			3 手根管症候群と斜角筋症候群	正中神経麻痺・腕神経叢麻痺について理解する。		
10	体表解剖⑤	顔、外皮、生体計測について。	1 目、耳、鼻、口	各部の名称について理解する。	3	
			2 外皮	皮膚・毛・爪・乳房について理解する。		
			3 生体計測	身長・体重・胸囲・腹囲・四肢の計測について理解する。		
11	映像解剖①	X線について。	1 単純X線検査法	造影剤や特殊な撮影装置を使用しないで行うことについて理解する。	3	
			2 断層撮影法	被写体の任意の深さでの断面を撮影する方法について理解する。		
			3 造影撮影法	造影剤を用いて行うX線検査を理解する。		
12	映像解剖②	CT、MRIについて。	1 X線透視検査	X線の蛍光作用を利用した方法を理解する。	3	
			2 CTスキャン	コンピューター断層撮影について理解する。		
			3 MRI	磁気共鳴画像診断について理解する。		
13	映像解剖③	サーモグラフィーについて。	1 構造	人体表面の温度（皮膚温）を体表面画像として表示することを理解する。	3	
			2 特徴	体表面から深さ数cmの組織の温度測定が可能であることを理解する。		
			3 適用	炎症・痛み・温冷などの観察することを理解する。		
14	振り返り	前期9回～13回の講義の振り返り。	1 体表解剖①	神経系の圧痛点と神経麻痺について理解する。	3	
			2 体表解剖②	顔面部・外皮・身体計測について理解する。		
			3 映像解剖	X線・CT・MRI・サーモグラフィーについて理解する。		
15	解剖学3のまとめ	前期解剖学3の全体の振り返り。	1 感覚器系	外皮・視覚器・聴覚器・平衡器・味覚器・嗅覚器について理解する。	3	
			2 体表解剖	骨格系・筋系・脈管系・神経系・生体計測について理解する。		
			3 映像解剖	X線・CT・MRI・サーモグラフィーについて理解する。		

評価方法：1. 小テスト、37. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等